

WAVE 33号
ウェーブ

埼玉のワーカーズ運動のかなめとして

第9回通常総会開催

今年もがんばります。
大野洋子会長

7月7日(土)生活クラブ生協埼玉本部会議室において第9回通常総会が開催されました。来賓に神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会から島田祥子さん、生活クラブ埼玉から吉田理事長、埼玉県市民ネットワークから辻浩司さんに来ていただきました。

ワーカーズ数を50に増やそうという中期3カ年計画の2年目の総括もふまえ、会費の値上げが提案され、活発な議論が展開されました。「05年度の赤字解消を07年度の会費値上げでというのは新しいワーカーズとして納得できない」という意見に、「新しいワーカーズのできた土台はこれまでの活動が培ってきたものだと思う。運動の継続性を考えみんなで支えていきましょう」という意見が出されました。また、「会費値上げはワ



カーズ作りや福祉系ワーカーズにとってハードルが高くなるがその対策は?」と
いう質問には「5000円で
参加できるグループ団体登録制度や、基本
分担金のみの準備ワーカーズ対応がある。
会員数が増えれば個々の負担を減らすこと
も可能」との回答がありました。予算案の
採決では有効議決権27のうち15票の賛成
を得、結果、本総会全議題が承認され無事
終了しました。

2007年度は中期計画3年目です。昨年まで
2年間で9ワーカーズが新しい仲間に加わり
ました。最終年度の活動は、ブロックを中心
に、私たちの事業に共感を持つ多くの人と出
会いの場を持ち、ワーカーズの『芽』を見つ
け、仲間を増やしていきます。そして地域に
点としてあるワーカーズどうしてまとまり、
存在をアピールしていきましょう。

各ブロックで2つのワーカーズを作りまし
ょう!

当日午後にはワーカーズの有志によるスペシャル
マーケットが行われ、楽しいひと時がもたらされました。

セブンフーズの挑戦

6/28 準備ワーカーズ設立
大宮の「配送ワーカーズ走SOU」から新しいワーカーズが誕生

「食」事業のかなめである、生活クラブ消費材の共同仕入事業を受け
継ぎ、新たな展開を模索する「セブンフーズ」です。

配送ワーカーズ走SOUは、受託のみの事業形態から、自分たちで切り開く新たな事業の展開を模索していました。はじめはこの事業をSOU内部の事業と位置づけるつもりでしたが、経理的な事情でできませんでした。そこで独立事業体として担うメンバーを募ってみたところなんと7人の挑戦者が手をあげたのでした。

共同仕入事業は、今までではワーカーズのみを顧客にした事業でした。しかしこれからは新たな顧客を開拓し、自分たちで配送するという高いハードルを自らに課すことになります。受託事業に飽き足らず、あえて未知のハードな領域に踏み出した7人の活躍は今後に待たなければなりませんが、彼らの事業はやりがいに満ちたものになるに違いありません。

ご協力お願いします

ワーカーズ・コレクティブ法の
実現を目指して署名活動をします!

現在、ワーカーズは全国で約700団体あり、18,000人以上の人々が働いていますが、「地域のニーズに応える非営利事業」で全員が出資し、雇用されない働き方を選んだ私たちにぴったりの法律はありません。今回、「協同労働の協同組合法」制定に賛同する署名を集め、国会へ提出します。

9月末第1次締切りです。

「ウェーブ」広報チームメンバー募集

一緒にワーカーズ運動を伝える機関情報紙
「ウェーブ」を作りませんか?若干の活動費が
出ます。発行年4回、詳しいことは下記まで
お問い合わせ下さい。

ワーカーズってなに?出前講座

ワーカーズのこと知りたい方、働き方に興味
ある方、ワーカーズを立ち上げようとしている方
講師派遣します。2時間1万円+交通費
(関係団体は5千円)

冊子あります

「ホップステップワーカーズ」
起業のためのガイドブック
埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会発行 500円
「自由な生き方・働き方を選ぼう」
ワーカーズ・コレクティブ20年の成果を検証

WNJ発行 1,000円

第7回全国会議記録集「ワーカーズ・コレ
クティブがリカレント(循環)型社会をつ
くる」自分らしく生きる働き方で

WNJ発行 1,200円

あとがき 自分のことで精一杯と思っていましたが、たまには鳥の目で大きく社会をとらえることも心の体操
になるのかも。つながることで力を蓄えて社会をかえていけたら気持ちがいいでしょうね!(せ)

ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、
地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行…埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

発行責任者…大野洋子 編集…広報チーム 福島/齊藤/堀/大塚

1部100円

〒340-0015 埼玉県草加市高砂2-18-39-302 TEL/FAX 048-927-7879

1、連合会は何をしているの？



10 の内部会議

連合会の目的遂行のための主な会議。連合会の目的はワーカーズの社会への認知度を高め、わたしたちの働き方を当たり前の制度として社会に浸透させることです。そのために仲間を増やし、連合して力を付けていくことが必要です。また、互いに知恵を出し合い、それぞれの課題を解決していくこともしていきます。

11 の对外会議

WNJ（ワーカーズネットワークジャパン）生活クラブ、運動グループとの会議。つながることで力を強めるために、そして必要な調整のために開かれます。（先般会員ワーカーズに第1回運営委員会報告とともに、組織構成表を送りました。連合会が持つ21の会議の構成メンバー、役割担当を明記して連合会の仕事を示しました。月ごとに各会議の日程表を機関会議を通して示します）

内部向けの研修企画

広報活動
ワーカーズ作りのための講師派遣等の活動
その他、外部団体との企画参加等



仲間を増やそう！

優しい社会に 変えてゆく ために



全国にあるワーカーズの数は700団体、18,000名がそのメンバーです。社会全体から見ると残念ながら私たちはまだ少数派です。非雇用で、地域貢献する事業体として注目はされてはいても、法律や税制の整備はすすんでいません。社会が私たちの働き方に追いついてはいないといえます。

私たちの働き方は、特有な手法で雇用労働に対する異議申し立てをしたものです。お弁当屋、リサイクル、福祉など、その事業の成長だけを目指すものではありません。それぞれの事業をとおし、雇用労働の問題や、企業の事業のあり方に疑問を投げかけ、もうひとつの働き方としてのワーカーズをより社会化していく、社会変革ではないでしょうか。

埼玉連合会の活動は、そのためにたくさんのワーカーズを作ることが当面の大きな課題です。地域に点として存在するワーカーズがまとまり、存在を示すこと、お互いの事業性を高めるための研修や学習会の実施、業種ごとに事業から見える地域の課題を整理し、次のワーカーズの必要性を

運営委員 あ

提起するなど、中間支援組織として求められることは多岐にわたります。そのため必要な資金を、加入する各ワーカーズ自らが拠出していることは、運動と事業の両輪を動かしていると言えます。

成果主義など人間を疎外するような働き方、利益や効率を優先したものづくり・・・『何のために働くのか』この時代だからこそ問われます。

埼玉に自分の住む地域のために働くワーカーズの働き方を選択した人が460名いることは貴重なことです。私たちの運動は果てしないですが、子や孫の世代には、人に優しい健全な社会にしたい・・その思いは460名共通でしょう。連合会の活動を支える資金をみんなで拠出し、いつの日か、形を変えて戻ってくると信じましょう。そのための活動に力を合わせていきましょう。

2、経費は どこに使われ ているの？

活動費は半日の活動で1,000円、1日で2,000円が運営委員等に払われます。予算は各会議の回数、時間、人数で算出しています。他に会長(30,000円/月) 副会長(10,000円/月) 事務局(30,000円/月) 手当、広報27,000部印刷時昼食代、版下制作料1ページ1,000円、慶弔費等が含まれます。

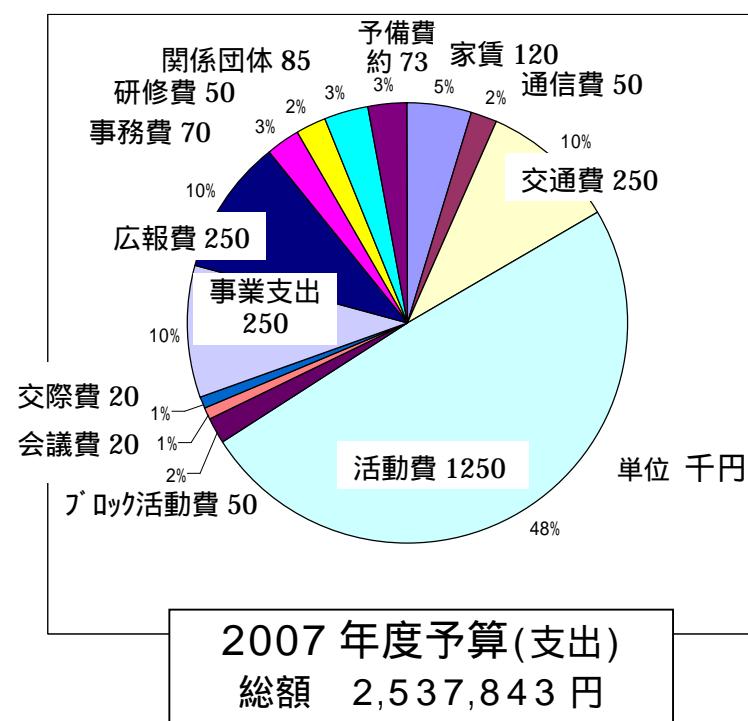
ロック活動費はロックで主体的に使用できる予算です。交通費予算は運営委員の平均800円をもとに算出しています。広報費の1部は連合会HP制作の予算です。

家賃は連合会の電話、郵便物の受け取り先を置く「いと」に支払います。



*活動費については、総会で出された意見をもとに再度検討しています。

*運営に関する細則等運営委員会で提案していくので、送られる情報には目を通し、機関会議等で話し合って下さい。



おしえて 連合組織

